

平成 24 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

| | |
|------|-------|
| 受験番号 | |
| 問題番号 | I-2-2 |

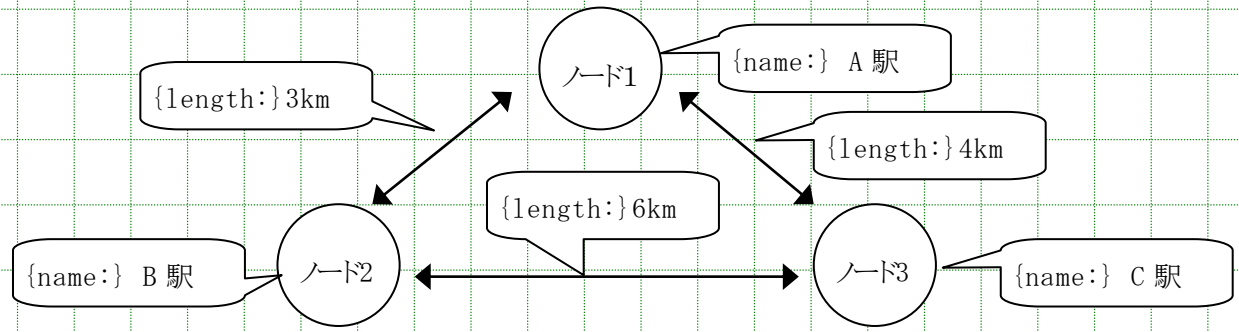
| | |
|---------|----|
| 技術部門 | 部門 |
| 選択科目 | |
| 専門とする事項 | |

| |
|---|
| ※ |
|---|

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。(英数字及び図表を除く。)

(1) グラフデータベースについて
 グラフデータベースとは、「ノード」「リレーション」「プロパティ」の3要素によってノード間の関係性を表現する、グラフ型のデータモデルを持つデータベースである。

(2) グラフデータベースの特徴
 グラフデータベースは関係性を表現するグラフを持つため、複雑なデータの探索に向いている。
 例えば、地下鉄の路線図のような形で、プロパティを持つ交点(ノード)とその間に関係性を表す線(リレーション)を引く。これが、グラフデータベースにおけるデータモデルのイメージとなる。



このようなデータモデルをRDB(リレーショナルデータベース)で構築することは不可能ではない。しかし、多数の交点からなるデータモデルをRDBで扱うと、「JOIN」を多用する必要があり。スキーマの検討にも苦勞するなど、複雑になってしまう。

一方、グラフデータベースの場合は、そうしたデータモデルを想定しているため、直感的に扱うことが可能になる。